

(2023年8月13日付・下野新聞3面)

小学校高学年向け 年組

記事は加工しています

出撃前の涙、忘れられず

とちぎ戦後78年

あのととき私は

③

飛び立つ飛行機の操縦席から、白いマフラーがなびいた。きれいだな。矢板市東泉、森戸正子さん(86)は、子ども心にそう思った。当時、国民学校の低学年。飛行機は上空を旋回し、空のかなたに消えた。

黒磯町埼玉(現那須塩原市)などにあった那須野陸軍飛行場。森戸さんはそこで特攻隊員を見送った。それが、決死の出撃と分かっていった。ただ、「死」の実感はない。

森戸さんは同町出身。

特攻隊員

森戸正子さん＝矢板



隊員たちの前で踊った時に使った日傘を手にする森戸さん。お気に入りです。今でも大事にとってある＝7月、矢板市東泉

動画は電子版・SOONで

学校の友だちと2、3度、飛行場から出撃する特攻隊を見送った。

飛行場の片隅に粗末なテーブルが置かれ、杯が並んでいた。敬礼する隊

員。飲み干して駆けだし、飛行機に乗り込んだ。

「兵隊さんはみんな若かった。私たちが手を振るもんだから、兵隊さん

も白い①を振ってくれた」

②風呂場の前を通ると、お兄さんが泣いていた。びっくりして母に伝えると、「見てはいけない」と叱られた。「特攻隊として出撃命令を受けていた。最期だと思つて泣いたんでしょね」。森戸さんはその光景を忘れられない。

関わることはほとんどなかった。

【3】①に当てはまる言葉を記事の中から四文字で抜き出しましょう。

【4】線②の「お兄さん」が泣いていたのはなぜだと思いますか。記事の言葉を用いて書きましょう。

【5】この記事を読んで、あなたはどう思いましたか。現在の生活と比べて感想を書きましょう。(文字数は自分で設定してください。)

設問

【1】記事の陸軍飛行場があった場所は、どこですか。現在の市町村名で答えましょう。

【2】次のア～エのうち、記事から読み取れることはどれですか。一つ選び、記号で答えましょう。

- ア 終戦の2日前まで、特攻隊は出撃していた。
- イ 戦時中、栃木県からは、特攻隊員は出ていない。
- ウ 特攻隊員は年配の人が多く、若い人は少なかった。
- エ 兵隊は全国各地から集められたが、地域の人と